

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年11月8日 (2018.11.8)

【公開番号】特開2017-68294(P2017-68294A)
 【公開日】平成29年4月6日 (2017.4.6)
 【年通号数】公開・登録公報2017-014
 【出願番号】特願2015-189143(P2015-189143)
 【国際特許分類】

G 0 8 B 17/00 (2006.01)

G 0 8 B 23/00 (2006.01)

H 0 4 M 11/04 (2006.01)

【 F I 】

G 0 8 B 17/00 L

G 0 8 B 23/00 5 1 0 D

H 0 4 M 11/04

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月28日 (2018.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動火災報知設備が設置された建物の人員が所持し、通信手段と、表示手段と、操作手段と、を有する端末装置と、

前記端末装置によって仮想訓練を実行するための仮想イベント情報の手順が予め格納されたシナリオ格納手段と、

前記端末装置からの仮想訓練要求を受け付けて仮想訓練を開始させる訓練受付手段と、

前記端末装置の操作手段における操作に基づく操作情報を受け付ける遠隔操作受付手段と、

前記手順と前記操作情報とに基づき、前記自動火災報知設備の集中監視制御手段の動作を模した所定のルールに従って、前記端末装置の表示手段に表示させる端末表示情報を生成する情報生成手段と、

前記端末表示情報を前記端末装置に向けて出力させる端末表示情報出力手段と、

を備えることを特徴とする支援システム。

【請求項 2】

自動火災報知設備が設置された建物の人員が所持する端末装置と通信する通信手段と、前記端末装置によって仮想訓練を実行するための仮想イベント情報の手順が予め格納されたシナリオ格納手段とを有する支援装置であって、

前記端末装置からの仮想訓練要求を受け付けて仮想訓練を開始させる訓練受付手段と、

前記端末装置の操作手段における操作に基づく操作情報を受け付ける遠隔操作受付手段と、

前記手順と前記操作情報とに基づき、前記自動火災報知設備の集中監視制御手段の動作を模した所定のルールに従って、前記端末装置の表示手段に表示させる端末表示情報を生成する情報生成手段と、

前記端末表示情報を前記通信手段から前記端末装置に向けて出力させる端末表示情報出力手段と、

を備えることを特徴とする支援装置。

【請求項 3】

自動火災報知設備が設置された建物の人員が所持し、仮想訓練を実行するための仮想イベント情報の手順が予め格納されたシナリオ格納手段を有する支援装置と通信する通信手段と、表示手段と、操作手段と、を有する端末装置であって、

前記支援装置に仮想訓練要求を受け付けさせて前記手順に基づく仮想訓練を開始させる訓練要求手段と、

前記操作部の操作に基づく操作情報を前記支援装置に対して送出し、該操作情報と前記手順とに基づいて前記表示手段に表示する端末表示情報を生成させる遠隔操作手段と、

前記端末表示情報を前記支援装置より取得して前記表示手段に表示させる端末表示情報取得手段と、

を備えることを特徴とする端末装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(1) 上述した課題を解決するため、本発明に係る支援システムは、自動火災報知設備が設置された建物の人員が所持し、通信手段と、表示手段と、操作手段と、を有する端末装置と、前記端末装置によって仮想訓練を実行するための仮想イベント情報の手順が予め格納されたシナリオ格納手段と、前記端末装置からの仮想訓練要求を受け付けて仮想訓練を開始させる訓練受付手段と、前記端末装置の操作手段における操作に基づく操作情報を受け付ける遠隔操作受付手段と、前記手順と前記操作情報とに基づき、前記自動火災報知設備の集中監視制御手段の動作を模した所定のルールに従って、前記端末装置の表示手段に表示させる端末表示情報を生成する情報生成手段と、前記端末表示情報を前記端末装置に向けて出力させる端末表示情報出力手段と、を備えることを特徴とするものである。

(2) 本発明に係る支援装置は、自動火災報知設備が設置された建物の人員が所持する端末装置と通信する通信手段と、前記端末装置によって仮想訓練を実行するための仮想イベント情報の手順が予め格納されたシナリオ格納手段とを有する支援装置であって、前記端末装置からの仮想訓練要求を受け付けて仮想訓練を開始させる訓練受付手段と、前記端末装置の操作手段における操作に基づく操作情報を受け付ける遠隔操作受付手段と、前記手順と前記操作情報とに基づき、前記自動火災報知設備の集中監視制御手段の動作を模した所定のルールに従って、前記端末装置の表示手段に表示させる端末表示情報を生成する情報生成手段と、前記端末表示情報を前記通信手段から前記端末装置に向けて出力させる端末表示情報出力手段と、を備えることを特徴とするものである。

(3) 本発明に係る端末装置は、自動火災報知設備が設置された建物の人員が所持し、仮想訓練を実行するための仮想イベント情報の手順が予め格納されたシナリオ格納手段を有する支援装置と通信する通信手段と、表示手段と、操作手段と、を有する端末装置であって、前記支援装置に仮想訓練要求を受け付けさせて前記手順に基づく仮想訓練を開始させる訓練要求手段と、前記操作部の操作に基づく操作情報を前記支援装置に対して送出し、該操作情報と前記手順とに基づいて前記表示手段に表示する端末表示情報を生成させる遠隔操作手段と、前記端末表示情報を前記支援装置より取得して前記表示手段に表示させる端末表示情報取得手段と、を備えることを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記（1）、（2）、（3）の構成によれば、本発明に係る支援システム、支援装置および端末装置は、建物の人員が消防訓練に参加できなかった場合でも、所持する端末装置を用いて建物に応じたシナリオの火災シミュレーションによる模擬的消防訓練（仮想訓練）を、任意のタイミングで実行することができる。また、防災センタに行かなくても、所持する端末装置を用いて建物に応じたシナリオの火災シミュレーションによる模擬的消防訓練を、任意の場所で行うことができる。ひいては、建物の人員は、建物に設置された自動火災報知設備の動作を習熟し、火災が発生した場合に、適切に対応することができる。